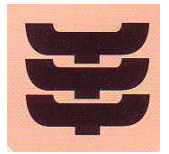


～「さねさし」とは、相模国の枕詞です～



文化財愛護
シンボルマーク

発行
平成18年3月18日
相模原市文化財調査・普及員
広報グループ

文化財展と民俗芸能大会に文化財調査・普及員が活躍！

文化財調査・普及員の活動の柱は、文化財パトロールと教育委員会の文化財関係事業へのスタッフとしての参加です。

そこで、今回は文化財関係事業への参加活動の事例として、平成18年2月10(金)～12日(日)に開催された文化財展に参加した石造物班の紹介と、2月12日に開催された民俗芸能大会に司会、舞台準備、受付、出演者誘導等に活躍した文化財調査・普及員の活躍を紹介したいと思います。

○石造物班文化財展に初参加

石造物班 秩父

第31回文化財展は、2月10日～12日の3日間にわたり「あじさい会館」で開催され、分野別グループの石造物班がはじめて展示発表しました。

展示内容は、市内の道標を調査解析し、昔の道をたどるというのですが、今回は大山道を紹介しました。

文化財展は、文化財研究協議会の加盟団体や公募に応募した団体の展示発表会ですが、文化財調査・普及員の活動を市民のみならずに知っていただく上で有意義であったと思っています。今後は、他の文化財調査・普及員による展示が多くなっていくことを期待しています。

目次

- ①・文化財展と民俗芸能大会での活躍！
～参加者エピソード紹介～
- ②・文化財パトロールの報告
・出土品整理研修を開催
・近日完成！古淵駅周辺文化財案内板
- ③・各分野別班の紹介・活動
・発見！ 大山道道標！！
- ④・文化財マップ紹介～上溝周辺～
・文化財保護室からのお知らせ



文化財展での石造物班の発表

○民俗芸能大会によせて

民俗班 中嶌

2月12日に第26回相模原市民俗芸能大会があじさい会館で開催され、舞台準備のスタッフとして参加しました。今回は市内の民俗芸能団体5団体と合併する津久井町、相模湖町から各1団体の計7団体が伝統芸能を発表しました。

その際に舞台裏で感じたことは①後継者不足、②稽古場不足、③衣裳や道具の修理・購入の資金難が話されていた点です。

一方で、田名八幡宮の獅子舞などでは小学生の参加もあり、後継者育成が図られていました。また、他の団体の道具を見て、自分達の道具の改善を図ろうと相談する前向きな場面などもありました。今後は、子どもの囃子などの出演を期待しつつ、これからもこうした事業に参加していきたいと思っています。



舞手(小学生)へのインタビュー

舞台準備の多い
ぼうち唄の披露



○文化財パトロール報告 東南班 佐藤

2月22日10時に相模女子大学正門に集合し、旧陸軍通信学校将校集会所を外観から確認し、これに付帯する庭園をひとめぐりしました。明るい日差しの中、木々の芽がふくらみ、丸い石造りの池は鏡のように澄んで、春色の空を映していました。

惣吉稲荷へ向う途中、初参加の第2期生に東南班エリア内の地神塔、題目塔、庚申塔、市内最古の双体道祖神、子安地蔵などを紹介しながら、現状の確認をしました。

惣吉稲荷境内では、初午祭が行われ、堂内には関係者が集まって直会の真っ最中でした。普段金網ごしにしか見ることのできない双碑の板碑の扉をあ

けていただき、目の当たりに見て感激しました。文化財が地域の方々に守られているということが実感できた良い機会にめぐりあえたパトロールでした。



惣吉稲荷境内の旗本大岡義成夫妻の墓碑にて

○発掘調査出土品整理講習会 南部班 五十嵐

文化財調査・普及員の研修として、新磯野の埋蔵文化財整理室で行われた発掘調査・講習会出土品整理研修に参加しました。初日の最初は土器の洗浄作業で、土器を傷つけないよう注意してブラシで水洗いしました。その次に行ったのが出土位置などを土器に記入する注記で、高齢の私たちには大変な作業で手が震えて思うような字がとて書けませんでした。2日目は土器の分類と接合で大量の土器片から接合できる土器片を探し、組み立てていく大変さを痛感しました。最後は縄文土器の拓本をとり研修

は終了しました。

出土品整理研修は大変良い勉強になりました。指導していただいた文化財保護室職員にお礼を述べるとともに、今後も文化財調査・普及員として資質向上を図る研修に積極的に参加していきたいと思ひます。



拓本に夢中の参加者

○古淵駅前に「古淵駅周辺文化財案内板」を設置&記念ウオークの開催

かねてより東部班が中心になり実行委員会を設置し製作してきました「古淵駅周辺文化財案内板」が、このたび古淵駅前に完成しました。

各メンバーが検討し”分かり易い地図”を目標に取り組んできました。文化財調査・普及員が作る初の文化財案内板として、やや広めの範囲にしましたが、市民はむろん駅を降りた方々にも大いに利用していただき、文化財への親しみとその保護の大切さを知る一助に成ればと願っております。

なお、3月25日(土)午後1時に古淵駅改札前に集合し、大日堂、鹿島神社、龍像寺、皇武神社をめぐる案内板完成記念ウオークを行いますので、ぜひご参加ください。

古淵駅周辺文化財案内板設置実行委員会 森



○文化財調査・普及員分野別班の紹介・活動

考古班

考古班は毎月第3日曜日の午前中に、総合学習センターに集まり活動しています。12月から新たに3名の方が加入され現在9名の構成です。次年度は土器・石器の見方等の座学と他の都道府県市町の博物館見学も含めた遺跡巡り等のフィールドワークを実施していきます。

民俗班

民俗班は主に古民家園事業への参加を主な活動としています。特に、9月19日に開催した「仕事唄のつどい」は民俗班にて実行委員会を結成し、事業の企画、運営を行いました。

歴史班

現在は活動休止中ですが、今後参加者を増やし、活動を始めていく予定です。

古道・地名班

毎月第一火曜日に集まり、市内の大山道を地形図をもとに歩き、道標を確認しています。古道は道路拡張などにより消滅したり、開発の中で面影が薄れていっています。古い地形図と照合して、古道が現時点で何割くらい確認できるか更に精査し、今後は、当麻山道・八王子道・鎌倉街道等にも取り組む予定です。

石造物班

『道標』をテーマに活動しています。本年度は班員3名で大山道を歩き、石仏などを調査しました。また、活動の成果として相模原市文化財展に参加し、展示発表を行いました。

○望地弁天上の不明塔は『大山道標』だった！

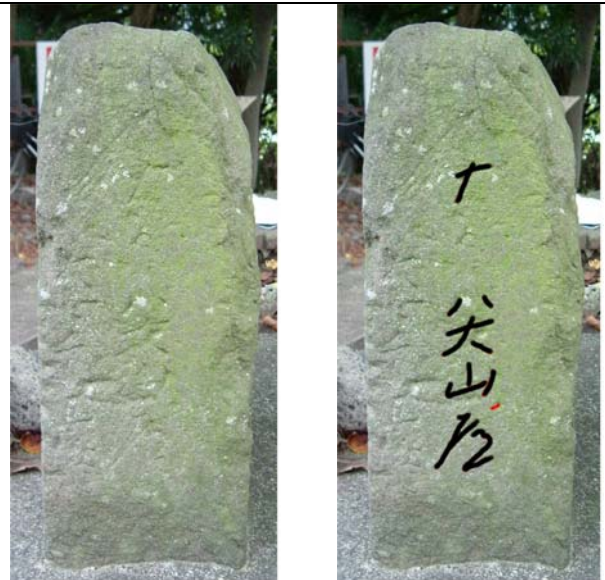
石造物班 橋本

いろはかるたにある“犬も歩けば棒にあたる”は、元々は「でしゃばると禍に会う」という意味であったものが、転じて逆に「出歩くと思わぬ幸せに会う」という意味で使われるようになりました。

石仏や石神など石造物の調査においても、文献を片手に懸命に探しても見つからない場合もあれば、別な目的で歩いている時に思いがけなく新しいものを見つけることもあります。また、今まで何度見ても読めなかった石仏の銘文などが、雨に濡れたり光の当たり具合で比較的簡単に読める場合があります。

読みにくい銘文を判読する方法には、拓本・転写などがありますが、それなりの技術が必要とされる上に、これらの方法を実施するには石造物の所有者や管理者に許可を得なければなりません。そこで、石造物の簡易銘文判読方法として、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで処理することをお勧めします。コントラストやカラーバランスを調整することにより目視では判読できなかった文字が浮き上がって見えてくる場合があります。

今回、『大山道標』であることが判明した望地弁天上の石造物群中の不明塔もそんな中の一つでした。判読出来た時の感動は忘れられません。



望地弁天上の大山道標（正面）
右の写真は銘文を写真上で読み易くなぞったもの

〈正面〉 三行書きの中央以外は判読不可
中央 : 左〔磨滅〕ハ大山道
〈裏面〉 二行書き
右側 : 享保十九年甲寅年か
左側 : 七月吉旦

○上溝の史跡と伝承を訪ねて 西部班 嶋田



上溝は、横浜・東海道・八王子・厚木等に通ずる交通の要地に位置し、江戸末期には商家が建ち並ぶ町場を形成していましたが、明治3年には上溝市場（通称「ミズイチ」）が開かれ、月6度の市日は大いに賑いました。『上溝村皇国地誌』には「本郡北部中ノ一小繁盛ノ地ト称シテ可ナランカ」と描写され、旧高座郡北部地域の中心地で、昭和29年（1954）までは相模原町役場が置かれていました。

また、照手姫の伝承地や、亀ヶ池八幡宮などの史跡にも恵まれています。路傍には江戸時代からの道祖神や石仏が佇み、行き交う人々を今も変わらず見守っています。

これからの時期は、上溝中学校脇の相模線沿いから横山公園にかけて桜吹雪の中を上溝・田名の市街を見晴らすのも気持ちよく、照手姫伝承地のある横山丘陵緑地は若葉が美しく木漏れ日の中を散策は気分を爽やかにしてくれます。

<おすすめコース>

上溝駅－(10分)→①榎神社－(20分)→②照手姫伝承地－(20分)→③日金沢橋石仏－(15分)→④上溝市場碑・上溝本町の芭蕉句碑－(10分)→⑤宝光寺－(15分)→⑥亀ヶ池八幡宮－(8分)→(20分)→上溝駅または番田駅
ゆっくり歩いて2時間ほどです

* 次号以降も各地区の文化財マップを紹介します。ご要望があれば、上溝地域をはじめ各地区の文化財の案内をいたしますので、文化財保護室までご連絡ください。

文化財保護室からのお知らせ

新戸の一里塚伝承地が寄贈される！

新戸の一里塚伝承地は、元和3（1617）年に徳川家康のひつぎ 柩を日光に奉じた際に府中道沿いに築かれたと伝えられる場所です。このたび、所有者より貴重な史跡の保存を図ってほしいとの申し出があり、市に寄贈されました。



寄贈された一里塚

亀ヶ池八幡宮の木造神像坐像が県立博物館で公開中！

現在、神奈川県立博物館で開催中の「神々と出逢う 神奈川の神道美術」に上溝の亀ヶ池八幡宮の木造神像坐像が公開されています。亀ヶ池八幡宮では60年に一度しか公開されない貴重な文化財ですので、ぜひみなさん足を運んでみてください。公開は5月7日までです。

発行連絡先 相模原市教育委員会文化財保護室 電話 042-769-8371